

1. 件名：福島第一原子力発電所における環境線量低減対策に係る面談
2. 日時：令和5年1月20日（金）11：00～11：40
3. 場所：原子力規制庁6階会議室
4. 出席者：
原子力規制庁 原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室
松田室長補佐、横山係長
東京電力ホールディングス株式会社（テレビ会議システムによる出席）
福島第一廃炉推進カンパニー 担当2名
5. 要旨：
 - 東京電力ホールディングス株式会社より、福島第一原子力発電所における環境線量低減対策について、資料に基づき主に以下の説明があった。
 - タービン建屋東側における地下水及び海水中の放射性物質濃度の状況
 - ✓ 一部上下変動が見られており、特に上昇傾向が見られる地点については引き続き注視していく。
 - 地下水濃度上昇時の対応について
 - ✓ 分析結果が上昇し、過去最高値を更新した場合や至近1年間の最高値（トラブル等による異常値は除外）の10倍以上の上昇が確認された場合には、採取試料の濁り等の目視確認、降雨や近傍での作業状況の確認、サンプリング及び分析作業時の気付き事項等を確認するとともに、環境への影響について確認している。
 - 1～4号機原子炉建屋からの追加的放出量の評価結果について
 - ✓ 有意な変動は確認されなかった。
 - ✓ 1号機RCW熱交換器入口ヘッダ配管内滞留ガスパーズに伴う敷地境界における実効線量の評価については、現在もパーズ作業を継続しているため作業完了後に評価し説明する。
 - 原子力規制庁は、上記説明内容について確認した。
6. その他
資料：
 - 環境線量低減対策スケジュール
 - タービン建屋東側における地下水及び海水中の放射性物質濃度の状況について
 - 地下水濃度上昇時の対応について 観測孔 No. 2-5 における全ベータ濃度上昇（過去最高値更新）時の対応
 - 1～4号機原子炉建屋からの追加的放出量の評価結果（2022年12月）
 - 別紙 1～4号機原子炉建屋からの追加的放出量評価結果 2022年12月評価分（詳細データ）

- 空气中放射性物質濃度の分析結果（1～4号機）
- 多核種除去設備等処理水の取扱いに関する海域モニタリングの状況について

以上